

### 3. 経営成績と財政状態

#### (1) 当期の概況

当期のわが国経済は、個人消費が比較的堅調であったことに加え、設備投資の増加が企業業績の改善を下支えし、国内景気は緩やかな回復基調が続いてまいりましたが、一方では原油価格の高騰や原材料価格の上昇など不透明な状況で推移いたしました。

自動車業界におきましては、国内販売は、前年同期に比べ若干下回りました。また、四輪車全体の国内生産台数につきましては、欧州、中南米向け等の海外販売の好調から輸出が増加し、前期を上回りました。

このような情勢のなかで、当社は更なる事業の成果および経営基盤の強化のため、08年度に向けて中期経営計画を策定し、次なる発展に向けてスタートいたしました。

**連結売上高**は、766億7千万円となり、前期に比べ74億円(前期比10.7%増)の増収となりました。製品部門別にみますと、軸受製品では278億2千万円(前期比11.4%増)、ダイカスト製品では166億2千万円(前期比3.8%増)、ガスケット製品では30億9千万円(前期比7.5%減)、組付製品他では87億1千万円(前期比30.0%増)、設備・金型製品では200億8千万円(前期比11.6%増)となりました。

**連結営業利益**は、23億4千万円となり、前期に比べ3億7千万円(前期比18.9%増)の増益となりました。

**連結経常利益**は、25億8千万円(前期比23.7%増)、**連結当期純利益**は10億8千万円(前期比9.4%増)となりました。

#### [キャッシュ・フロー]

当期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、72億2千万円となり前期末より15億9千万円増加いたしました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、52億1千万円(前期比44.9%増)となり、前期に比べ16億1千万円増加いたしました。主な内訳は税金等調整前当期純利益24億4千万円、減価償却費46億7千万円および法人税等の支払額12億8千万円であります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、102億6千万円(前期比13.1%増)となり、前期に比べ11億8千万円増加いたしました。有形固定資産の取得による支出107億5千万円は主に新製品投資及び工場用地取得によるものであります。また、投資有価証券の取得による支出11億6千万円は、主に関係会社株式の取得によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、66億8千万円(前期比37.6%増)となり、前期に比べ18億2千万円増加いたしました。これは主に第2回無担保社債(適格機関投資家限定)の発行による収入49億8千万円および長期借入れによる収入18億9千万円などによるものです。

## (2) 次期の見通し

今後の経済の見通しにつきましては、国内の企業収益が改善していることから、国内景気は本格回復に向けて緩やかな回復が続くものと思われま

す。自動車業界におきましては、世界経済の景気回復および新興国での需要増加を受けて自動車販売の堅調な伸びが期待される一方、部品メーカーのグローバルな受注競争が一層厳しくなるものと思われま

す。このような経営環境のなかで、当社は更なる事業の成長および経営基盤の強化のため、'08 年度に向けて中期経営計画を策定し、展開をしております。

次期の業績につきましては、**連結売上高**は 802 億円(前期比 4.6%増)、**連結営業利益**は 28 億 6 千万円(前期比 21.8%増)、**連結経常利益**は 27 億 6 千万円(前期比 6.9%増)、**連結当期純利益**は 14 億 2 千万円(前期比 30.9%増)を見込んでおります。

### [キャッシュ・フロー]

**営業活動によるキャッシュ・フロー**は、税金等調整前当期純利益は増加し、減価償却費につきましては、12 億円程度増加する見込みです。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**は、設備投資におきまして国内では前期に対して 28 億円程度減少の見込みであり、海外におきましては、3 億円程度増加の見込みであります。全体では 25 億円程度減少し、104 億円の見込みです。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**は、国内、海外投融資のための必要資金の対応は、金利動向を勘案し、借入・社債・増資等を含めた資金調達を弾力的に実施したいと考えております。

以上の結果、次期の現金及び現金同等物の期末残高は、前期末より減少する見込みであり、55 億円程度を予想しております。